

2022.10.21福祉体験学習 木更津市立中郷小学校

4年生17名が福祉体験学習を行ないました。



砂利道や段差の介助体験は苦勞していましたが、当事者役の友達が不安にならないよう声をかけて移動させることができました。

具体的に靴の場所を伝え、時には全盲役の手を取って触らせながら、靴の場所を教えていました。



「物がつかみにくい」「腕が上がりにくい」「つまづきそうになる」子どもたちの何気ない日常生活が、高齢者には大変なこともあると感じたようです。



体験を通して、どんなバリアが社会にあるのか理解できたと思います。大切なことは、心の中にある見えない壁（バリア）をなくして、わたしたち一人ひとりがお互いを理解し、助け合うことです。この体験が「心のバリア」をなくすきっかけになれば嬉しいです。

保護者のみなさんが、子どもたちの安全見守りをしてくださいました。お忙しい中、ありがとうございました。